

事務事業名 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：604

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-04-547
基本事業：	03	青少年の指導者育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	青少年の指導者・子どもリーダー数 生涯学習ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるもの人数）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市子ども会育成会連絡協議会			地域の子ども会活動への協力と理解に厳しさが増すなか、「子どもの手による子ども会活動」を目指して子ども会を支援指導する「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。 【活動内容】 ・役員会、運営委員会、専門部会の定期的な会議の開催 ・イベントの実施（指導者研修会、子ども会サミット、カルタ大会など） ・各子ども会育成会への説明（現新役員懇談会、事務担当者説明会）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
子ども会加入率		%	33.5	32.9	40	40			60
子ども会加入率が50%を超えている行政区の割合		%	92.8	88.8	90	90			70
5. コスト									
事業費		計	千円	0	495	495	495		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	0	495	495	495			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	792	1,268	1,277	495			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和3年度末に1単子が市子連を退会し、令和4年度4月時点での加入数は27単子となったため、成果指標については数値が下降している。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小したものの、竜岩自然の家でのデイキャンプやカルタ大会などのイベント行事、現新役員懇談会など育成会向けの説明会を実施することができた。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	市子連への加入率の低下により、加入している単位子ども会への負担が増加している。単位子ども会への負担が減少するように、主催事業の運営方法などを見直す必要がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
市子連活動は、地域の子ども会活性化に必要であるため、引き続き市子連の活動を見守るとともに支援を続ける。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。				地域の子ども会育成会役員の負担を減らすため、市子連への加入が敬遠され、加入率の低下につながっている。					